平成22年度上半期決算
（来年度の実施に向けて今年度試行したものです）

金額については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています

収支の状況

■一般勘定　（億円）

区分	22年度予算額	22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）	進捗率
事業収入	6,786	3,413	50.3%
受信料(注)	6,550	3,287	50.2%
その他の収入	236	125	53.1%
事業支出	6,847	3,211	46.9%
事業運営費	5,924	2,799	47.3%
その他の支出	923	411	44.6%
事業収支差金	△61	201	—
建設費	808	288	35.7%

（注）受信料は、損益計算書における受信料（経常事業収入）から未収受信料欠損償却費（経常事業支出）を控除したものを記載しています。

■番組アーカイブ業務勘定　（億円）

区分	22年度予算額	22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）	進捗率
事業収入	12	2	22.8%
事業支出	30	10	35.7%
事業収支差金	△18	△8	—

■受託業務等勘定　（億円）

区分	22年度予算額	22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）	進捗率
事業収入	15	7	50.3%
事業支出	12	6	51.2%
事業収支差金	2	1	—

財務の状況

個別財務諸表

■損益計算書（協会全体）(注)　（億円）

区分		22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）
経常事業収支	経常事業収入	3,393
	受信料	3,329
	その他の収入	64
	経常事業支出	3,177
	事業運営費	2,810
	減価償却費	325
	未収受信料欠損償却費	41
	経常事業収支差金	216
経常事業外収支	経常事業外収入	61
	経常事業外支出	78
経常収支差金		199
特別収支	特別収入	2
	特別支出	8
当期事業収支差金		193

■貸借対照表（協会全体）　（億円）

区分	平成22年9月末（平成22年9月30日）
（資産の部）	
流動資産	2,174
現金預金・有価証券	1,848
その他の流動資産	326
固定資産	6,463
有形・無形固定資産	4,319
出資その他の資産	2,144
特定資産	94
放送債券償還積立資産	94
資産合計	8,732

区分	平成22年9月末（平成22年9月30日）
（負債の部）	
流動負債	2,081
受信料前受金	1,308
その他の流動負債	772
固定負債	863
退職給付引当金	541
その他の固定負債	321
負債合計	2,944
（純資産の部）	
資本	5,787
純資産合計	5,787
負債・純資産合計	8,732

（注）「協会全体」とは一般勘定、番組アーカイブ業務勘定および受託業務等勘定を合算し、内部取引等を調整したものです。

連結財務諸表（NHK及び連結子会社13社、持分法適用関連会社2社による連結決算）

■連結損益計算書　（億円）

区分		22年度上半期（平成22年4月1日～平成22年9月30日）
経常事業収支	経常事業収入	3,571
	経常事業支出	3,427
	経常事業収支差金	143
経常事業外収支	経常事業外収入	54
	経常事業外支出	3
経常収支差金		195
特別収支	特別収入	11
	特別支出	13
税金等調整前当期事業収支差金		194
法人税等		17
少数株主利益		△0.1
当期事業収支差金		177

■連結貸借対照表　（億円）

区分	平成22年9月末（平成22年9月30日）
（資産の部）	
流動資産	2,851
現金預金・有価証券	2,245
その他の流動資産	606
固定資産	6,842
有形・無形固定資産	4,463
出資その他の資産	2,378
特定資産	94
放送債券償還積立資産	94
資産合計	9,787

区分	平成22年9月末（平成22年9月30日）
（負債の部）	
流動負債	2,250
受信料前受金	1,308
その他の流動負債	942
固定負債	999
退職給付引当金	655
その他の固定負債	343
負債合計	3,249
（純資産の部）	
資本	6,379
評価・換算差額等	△2
少数株主持分	160
純資産合計	6,537
負債・純資産合計	9,787

テレビを設置したらNHK受信料のお支払いをお願いします。

受信料のお支払いは
口座振替（BANK）または クレジットカード継続払（CREDIT CARD）
をご利用ください

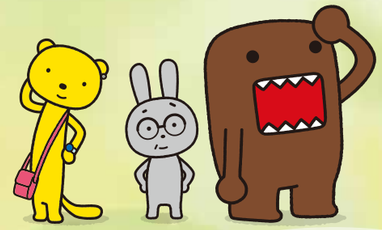
受信料額表（消費税を含む）	月額料金	2か月払額	6か月前払額	12か月前払額
衛星契約（地上契約を含む）	2,290円	4,580円	13,090円	25,520円
地上契約	1,345円	2,690円	7,650円	14,910円

※沖縄県は料額が異なります。

お申し込みは
ホームページ http://www.nhk.or.jp/jushinryo/
携帯サイト メニュー⇒TV⇒NHK⇒受信料の窓口
フリーダイヤル 0120-151515
（午前9時～午後10時／土・日・祝日：～午後8時）

日本放送協会 経営企画局 2010.11

NHK



視聴者のみなさまへ

平成22年度 上半期の取り組み

「いつでも、どこでも、もっと身近にNHK
平成21～23年度NHK経営計画」にもとづく
取り組みをお知らせします。

NHKと視聴者のみなさまをつなぐ経営2目標
① NHKへの接触者率　3年後 80%
② 受信料の支払率　3年後 75%　5年後 78%

平成22年度事業計画の重点事項

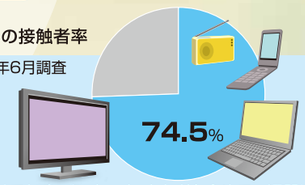
1 視聴者のみなさまの信頼を高めるため 組織風土改革に全力をあげます
2 日本の課題、地球規模の課題に真正面から向きあいます
3 放送・通信融合時代の新サービスで公共放送の役割を果たします
4 地域を元気にするための拠点となります
5 日本を、そしてアジアを、世界に伝えます
6 円滑な完全デジタル化に向けて重点的に取り組みます
7 構造改革を推し進め 効率的な体制で 受信料の価値をより大きくします
8 受信料を公平に負担していただくための取り組みを強化します
9 環境経営に着実に取り組みます

接触者率向上をめざして

より多くのみなさまにNHKの番組や情報に接していただこうと、今年度は、朝の連続テレビ小説を午前8時スタートとするなど、大幅な番組改定を行いました。また、政権交代後、初の本格的選挙となった7月の参議院選挙や、沖縄の普天間基地問題、口てい疫の問題など、社会的に関心の高い問題を多角的、継続的に報道しました。

インターネットなどを通じた“3-Screens”展開にも力を入れました。NHKオンラインのトップページをリニューアルし、気象・災害情報ページを大幅に強化しました。戦争体験者の証言を公開する「戦争証言アーカイブス」は、公開から2か月で110万ページビューのアクセスがありました。様々な形でNHKに接していただく取り組みを、今後も進めて行きます。

■NHKへの接触者率
平成22年6月調査

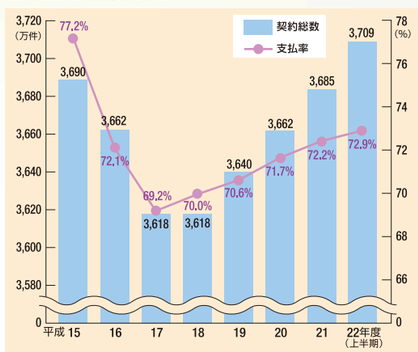


放送だけでなく、インターネットなどを含めて一週間に5分以上NHKを「見たり」「聞いたり」「利用したり」した人の率です。NHK放送文化研究所が実施する「全国接触者率調査」で把握しています。

支払率向上をめざして

NHKのもうひとつの経営目標「受信料の支払率向上」への取り組みとして、この上半期は、地域スタッフや外部委託事業者などによる契約・収納活動をいっそう強化しました。この結果、契約総数は、この期間に24万件の増加、衛星契約は41万件の増加となり、いずれも順調に推移しています。上半期末の支払率は72.9%（推計）と、21年度末と比べ、0.7ポイント増加しました。今後も、受信料の公平負担への取り組みを強化します。

■契約総数と支払率



■受信料収入　（単位 億円）

区分	22年度予算	上半期累計（4～9月）	支払率（推計）
受信料収入	6,550	3,287	72.9%

■受信契約状況

区分	年間増加目標	上半期累計（4～9月）	9月末契約数
契約総数	35万件	24万件	3,709万件
衛星契約	65万件	41万件	1,497万件
未収削減	△20万件	△12万件	219万件

豊かで多彩な放送

幅広い視聴者のみなさまに向けて公共放送ならではの番組をお届けしました。

信頼にこたえ、暮らしに役立つ報道の強化

「普天間基地」

●7月の参議院選挙では、全局体制での情勢分析と報道により、正確・迅速な当確判定を実施しました。普天間基地の移設問題や口てい疫問題などでは、放送局のネットワークを生かした報道に取り組みました。

●報道ビッグプロジェクト「あすの日本」では、「無縁社会」キャンペーンを展開し、特別番組「無縁社会 私たちはどう向き合うか」、追跡!AtoZ「無縁社会の衝撃」などを放送し、社会の課題に向き合いました。

「無縁社会 私たちはどう向き合うか」

教育テレビの新番組で視聴者層拡大

●教育テレビでは、若い世代の視聴者層拡大をめざし、「テストの花道」「大科学実験」「ハーバード白熱教室」などを新設しました。「ハーバード白熱教室」は、大きな反響を呼びNHKオンデマンドでも良く見られました。

「ハーバード白熱教室」

番組改定で変わったNHKの朝

●総合テレビでは、平日朝を女性視聴者を意識したゾーンとして刷新、「連続テレビ小説」を午前8時開始とし、8時15分から大型情報番組「あさイチ」を新設しました。「ゲゲゲの女房」は、最終回の視聴率が23%を超え、「あさイチ」では女性40～60代の視聴が増えました。

連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」

「あさイチ」

日本の、地球規模の課題に迫る

●NHKスペシャルでは、「アフリカン・ドリーム」「灼熱アジア」「プロジェクトJAPAN 日本と朝鮮半島」などの大型シリーズを放送。また、「大相撲は変われるのか」「消えた高齢者」「墜ちた特捜検察」などの時事的なテーマも積極的に取り上げ、「より深く知りたい」という視聴者の声に応え、高い評価を受けました。

NHKスペシャル「灼熱アジア」

質の高いドラマを制作

大河ドラマ「龍馬伝」

●大河ドラマ「龍馬伝」は、10代の若い世代に見られており、多彩な映像表現を駆使したドラマ制作が、視聴者層の拡大につながりました。今年度、新設したドラマ10の第一弾「八日目の蝉」は、男女の40代に良く見られました。

サッカーW杯南アフリカ大会

●6月に開幕したサッカーのFIFAワールドカップ南アフリカ大会では、総合テレビ、衛星第1などで、生中継を中心に44試合を放送しました。日本対カメルーン戦は、最高視聴率が49.1%に達し、多くの方に現地の興奮を届けることができました。

いつでも、どこでも、もっと身近にNHK

放送局のちから

全国53放送局は、1年間の重点目標として「放送局のちから」を掲げ、地域の個性を引き出す放送・サービスを展開しました。

地域の課題に向きあう

●口てい疫の「非常事態宣言」以降、関連ニュースや番組、被害農家を支援する取り組みなどをきめ細かく伝えました。(宮崎局ほか)
また、日本社会の中核を担う30～40代の雇用、結婚・育児、心の病などの問題をキャンペーン放送しました。(首都圏放送センター)

「ニュースWAVE宮崎」口てい疫関連ニュース

地域を元気に

「おいしい闘技場 四国VS東北」

●ふるさとの食材を使った若者たちによる料理対決番組を全国展開しました。(仙台局ほか)
また、瀬戸内の島々を舞台に開かれた「瀬戸内国際芸術祭」と、瀬戸内の文化、暮らしなどを幅広く伝えました。(高松局ほか)

「知って解決!SKEっとネット」ホームページ

さまざまなメディアで

●放送だけで伝えきれない、より具体的な安全・安心情報を、インターネット、携帯サイトなどで多角的に伝える試みを始めました。(名古屋局)
NHKの番組を教育現場で活用していただき教職員のみなさんを支援するサイト「ティーチャーズサポート」を新設しました。(和歌山局)

「ティーチャーズサポート」ホームページ

地域から全国へ

●「被爆65年」を迎え、核・平和関連のさまざまな番組を制作、地域から全国に向けて積極的に発信し、多くの反響が寄せられました。(広島局・長崎局)
知床の豊かな自然や動物、人々の暮らしなどを伝える番組やニュースを放送しました。(札幌局ほか)

NHKスペシャル「封印された原爆報告書」

2011年 完全デジタル化に向けて

来年7月の完全デジタル化まで残り1年を切りました。NHKでは、デジタル放送ネットワークの構築や受信環境整備、番組等を通じた周知広報などに精力的に取り組みました。

地上デジタル放送ネットワークの構築

●デジタル放送のカバーエリア拡大に向け、22年度上半期に全国で250局のデジタル中継局を新たに建設しました。これにより9月末の世帯カバー率は98.9%となりました。

デジタル中継局の建設

デジタル受信環境整備に向けた支援

デジタル受信状況の調査

●デジサポや民放等と連携して、自主共聴および集合住宅や障害対策共聴のデジタル化、地デジ難視対策衛星放送への移行など、受信環境のデジタル化を積極的に支援しました。

アナログ放送終了の周知広報の強化

●デジタル放送を広く周知する「デジタルQ」をリニューアルするとともに、新番組「デジタルテレビライフがやってきた!」を開始し、いっそうの周知広報の強化を図りました。7月からは、アナログの全番組でレターボックス化、9月からは一部地域で画面下の黒味部分に告知スーパーの表示を行っています。

アナログ放送のレターボックス化と告知スーパー

NHKネットクラブ
NHKを、もっと楽しく、便利で、お得に!
新規会員募集中!
NHKネットクラブ
http://www.nhk.or.jp/netclub/

"3-Screens"展開

テレビ、パソコン、携帯端末などでNHKの番組や情報が見られる"3-Screens"展開を進めました。

より魅力的に、より手軽に

●「NHKオンデマンド」では、見逃した番組や懐かしい番組を、パソコンや高機能テレビでいつでもご覧いただくことができます(有料)。「夏休み限定パック」「夏の限定105円セール」は好評で、「宇宙探求パック」「NHKスペシャル映像の世紀」などの番組を、多くの方にご利用いただきました。

「NHKオンデマンド」トップページ

つなげようエコハート

●NHKのニュースや番組から環境・自然・動物に関する選りすぐりの動画を集めた「NHKエコチャンネル」をインターネット上にオープンしました。環境についての映像や情報がこのサイトでいつでもご覧いただけます。

「NHKエコチャンネル」トップページ

国際放送

外国人向け英語放送「NHKワールドTV」では、日本とアジアの"いま"を伝えました。

「China Wow!」

「猫のしっぽ カエルの手」

●24時間毎正時ニュース「NEWSLINE」。参議院選挙、民主党代表選挙、バンコク暴動、上海万博などを重点的に取り上げました。NHKの記者、カメラマン、アナウンサー、現地スタッフも、英語でリポートしました。

「NEWSLINE」参議院選挙特別番組

●日本を紹介する番組を充実し、地域放送局制作の番組も英語化して編成するなど、多彩な番組を放送しました。8月には、広島、長崎の平和式典の生中継やNHK平和アーカイブスの番組など平和関連番組を特集し世界に向けて積極的に発信しました。

「NEWSLINE」核・平和関連企画

●NHKワールドTVは、世界の1億3,000万のご家庭に24時間届けられています。

開かれたNHKであるために

「すべては、視聴者のみなさまのために」を貫き、視聴者のみなさまの信頼を高め、「開かれたNHK」を実現するための取り組みを強化しました。

ふれあいミーティング

●NHKの役職員が視聴者のみなさまに直接お会いする「ふれあいミーティング」。上半期は、全国で762回開催し、21,000人あまりの視聴者のみなさまから、貴重なご意見・ご要望を直接伺いました。

ふれあいミーティング

広報番組「三つのたまご」

●経営トップが、経営方針やNHKの活動を視聴者のみなさまに毎月お伝えしました。

「三つのたまご」

NHKふれあいセンター

●上半期に寄せられた意見やお問い合わせは240万件。一人ひとりのお客様の立場に立った対応を心がけ、お問い合わせに迅速にお答えするとともに、ご意見を担当部署に伝えて放送・サービスの改善に努めました。

NHK ふれあいセンター